

第99期 中間報告書



東洋埠頭株式会社

TOYO WHARF & WAREHOUSE CO., LTD.

自 平成21年4月1日
至 平成21年9月30日

国際化、情報化、高付加価値化、
新しい時代のニーズに
総合物流ネットワークでお応えします。

ホームページのご案内

<http://www.toyofuto.co.jp/>

当社ホームページにおきまして、最新のIR情報や各支店・事業所および関係会社の流通施設・業務内容など、詳細な会社情報をご案内しております。

IR情報 社長のあいさつや、決算短信その他の開示情報を掲載しております。

会社案内 当社の会社概要や沿革、関係会社の情報を掲載しております。

営業 事業内容や各支店・事業所および関係会社の所在地、流通施設などを掲載しております。

採用情報 当社および関係会社の採用情報を掲載しております。

株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、当社は、平成21年9月30日をもちまして第99期の中間決算を行いましたので、ご報告申し上げます。

なお、中間配当金につきましては、安定的な配当を継続するという基本方針に基づき、前年同期と同額の1株につき2円50銭とさせていただき、11月30日からお支払いすることといたしました。

株主の皆様におかれましては、何卒変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。



平成21年11月

取締役社長

鈴木 毓夫

事業の概況

○事業の経過及び成果

当中間期におけるわが国経済は、企業の在庫調整の一巡や経済対策の効果により、一部に持ち直しの動きは見られましたが、企業収益が依然として大幅に落ち込んでいることや雇用情勢の急速な悪化により、厳しい状況が続きました。

当埠頭・倉庫業界においては、企業の在庫調整が進んだ結果、入庫数量や保管残高がともに前年を下回る状況で推移しました。

このような環境下にありましたが、当社グループは新規貨物の集荷に努める一方、業務の効率化、合理化を進め、諸経費を圧縮し業績の向上に努めました。また施設面では、今年度竣工予定の博多支店香椎物流センターの増改築工事に着手した他、来期稼働を目指し、現在川崎支店や鹿島支店でも設備の強化や倉庫の新設を進めています。

当中間期は、埠頭貨物の雑穀や輸入青果物などを堅調に取扱うことができましたが、自動車運送業務、国際物流業務の取扱いが大きく減少したことなどにより前年同期比では減収となりました。しかし、前年は特別損失に投資有価証券評価損を計上したため、四半期純利益段階では前年同期比で増益となりました。

すなわち、当期の営業収入は、153億6百万円（前年同期比16億2千1百万円、9.6%の減収）、経常利益は5億1千3百万円（前年同期比4千4百万円、8.0%の減益）となりましたが、四半期純利益は2億7千8百万円（前年同期比6千4百万円、30.0%の増益）となりました。

○会社に対処すべき課題

下半期の日本経済は、アジア向けの輸出が増加するなど、景気の持ち直しが期待されています。しかし一方では、雇用情勢の悪化や為替相場の変動の影響といった景気を下押しするリスクが存在することから、当面予断を許さない経済環境が続くと見込まれています。

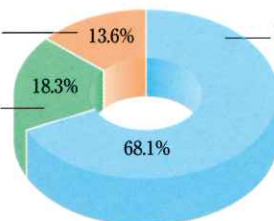
このような環境下にあります。当社グループはグループ各社の結束をより強め、営業拡大や諸経費の圧縮といった課題に対処してまいります。同時に設備面の強化については、まず今年度は下半期中の竣工予定で博多支店香椎物流センターの増改築工事に着手しました。さらに来期稼働を目指して、川崎支店では石炭高積み用コンベアの新設、また鹿島支店では大豆選別機の更新と定温倉庫の増設を行います。諸経費の圧縮については、これまで以上に業務の効率化、合理化を徹底することで経費削減を図ります。

当社グループは平成22年3月期の連結業績について、営業収入297億円、経常利益9億円、当期純利益4億5千万円を予測しております。

部門別の概況

埠頭部門 (大型荷役機械を使用し、バラ貨物の海陸一貫作業を主とする業務)
2,089百万円

その他部門 (国際物流業務、施設賃貸業務、自動車運送業務、コンテナターミナル業務、工場構内作業等の業務)
2,797百万円



倉庫部門 (倉庫施設(普通倉庫、サイロ、青果物倉庫、冷蔵倉庫等)における貨物保管並びに出入庫作業及び荷捌作業を主とする業務)
10,419百万円

合計
15,306百万円

部門別営業収入

○埠頭部門

経岸貨物量は、260万トン(前年同期261万トン)となりました。穀物類は、志布志地区での取扱いが増加したため、前年同期(200万トン)を上回る205万トンの取扱いとなりました。

石炭類は、セメント用石炭の取扱いは減少しましたが、発電所用石炭の取扱いが回復したことから前年同期並みの42万トンの取扱いとなりました。鉱石類等其他貨物は、シリカサンド、ソーダ灰の取扱いは増加しましたが、合金鉄などその他の貨物の取扱いが減少したことで、前年同期(18万トン)を下回る12万トンの取扱いとなりました。

当部門における営業収入は20億8千9百万円となり、前年同期比7.9%の減収となりました。

○倉庫部門

当部門の出入庫数量は、前年同期(180万トン)を下回る157万トンとなりました。

平均保管残高は、前年同期(27万トン)を下回る24万トンとなり、金額では431億円(前年同期464億円)となりました。

一般貨物では、米・麦、豆類や鋼材などの取扱いは増加しましたが、雑穀・飼料や合成ゴム・樹脂などの取扱いが減少しました。

輸入青果物は、シトラスとトロピカル類がやや減少しましたが、バナナやキウイフルーツなどを堅調に取扱えたことで、青果物全体では取扱増となりました。

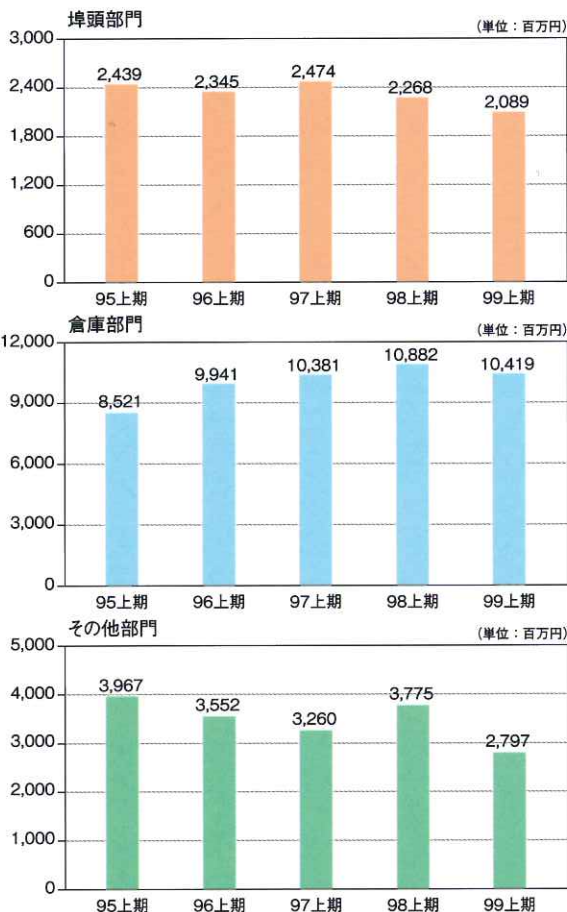
冷蔵倉庫貨物の取扱いは前年同期(6万8千トン)を下回る5万トンの取扱いとなりました。

当部門における営業収入は、104億1千9百万円となり、前年同期比4.3%の減収となりました。

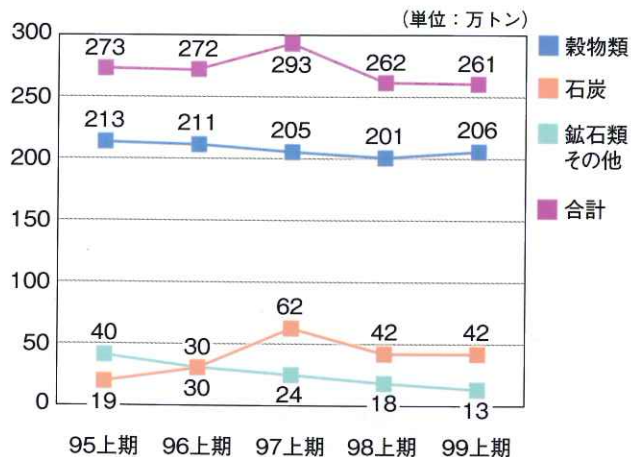
○その他部門

当部門は、国際物流業務、施設賃貸業務、自動車運送業務、コンテナターミナル業務、工場構内作業などで構成されていますが、これらのうち国際物流業務と自動車運送業務が大きく減少しました。

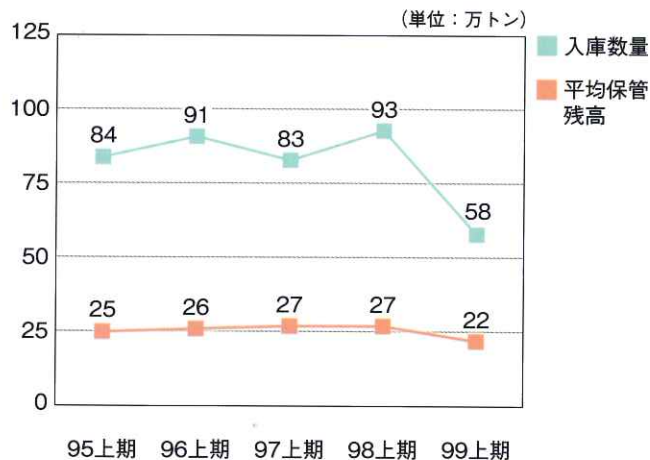
当部門における営業収入は27億9千7百万円となり、前年同期比25.9%の減収となりました。



経岸貨物量



倉庫貨物取扱量



連結子会社の状況

会社名	資本金	当社の出資比率	主要な事業内容
株式会社東洋埠頭青果センター	100 百万円	100 %	港湾運送業、倉庫業
株式会社東洋トランス	100	70	航空貨物代理店業、国際複合一貫輸送業
東京東洋埠頭株式会社	50	100	一般貨物荷役業、特定労働者派遣事業
鹿島東洋埠頭株式会社	30	75.5	港湾運送業、一般貨物荷役業
志布志東洋埠頭株式会社	20	90	港湾運送業、一般貨物荷役業、自動車運送業、倉庫業
東永運輸株式会社	20	100	自動車運送業
OOO東洋トランス	1,000 万ルーブル	※ 100	倉庫業、国際複合一貫輸送業
OOTB東洋トランス	145	※ 100	通関業

※(株)東洋トランスの出資比率であります。

連結貸借対照表 (平成21年9月30日現在)

(単位：百万円)

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
流動資産	6,220	流動負債	11,563
現金及び預金	1,635	営業未払金	2,509
受取手形及び営業未収入金	3,635	短期借入金	6,738
原材料及び貯蔵品	155	リース債務	25
前払費用	162	未払法人税等	189
繰延税金資産	211	未払金	875
その他	433	設備関係支払手形	311
貸倒引当金	△ 13	その他	913
固定資産	35,869	固定負債	13,325
有形固定資産	28,509	長期借入金	11,665
建物及び構築物	15,681	リース債務	83
機械及び装置	3,072	繰延税金負債	5
船舶及び車両運搬具	130	退職給付引当金	1,164
工具、器具及び備品	92	役員退職慰労引当金	84
土地	8,266	その他	322
リース資産	86	負債合計	24,888
建設仮勘定	1,178	純資産の部	
無形固定資産	219	株主資本	17,171
リース資産	20	資本金	8,260
その他	199	資本剰余金	5,182
投資その他の資産	7,140	利益剰余金	3,777
投資有価証券	4,874	自己株式	△ 49
長期貸付金	76	評価・換算差額等	10
繰延税金資産	285	その他有価証券評価差額金	△ 16
その他	2,039	為替換算調整勘定	26
貸倒引当金	△ 134	少数株主持分	19
資産合計	42,089	純資産合計	17,200
		負債純資産合計	42,089

(百万円未満切捨)

連結損益計算書 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)

(単位：百万円)

科目	金額	
	内訳	合計
営業収入		15,306
営業原価		13,858
営業総利益		1,447
販売費及び一般管理費		889
営業利益		557
営業外収益		173
受取利息	3	
受取配当金	76	
受取地代家賃	52	
その他	41	
営業外費用		218
支払利息	197	
持分法による投資損失	9	
その他	11	
経常利益		513
特別損益の部		
特別利益		7
固定資産売却益	7	
特別損失		24
固定資産除却損	24	
税金等調整前四半期純利益		495
法人税、住民税及び事業税	176	
法人税等調整額	39	
少数株主利益		2
四半期純利益		278

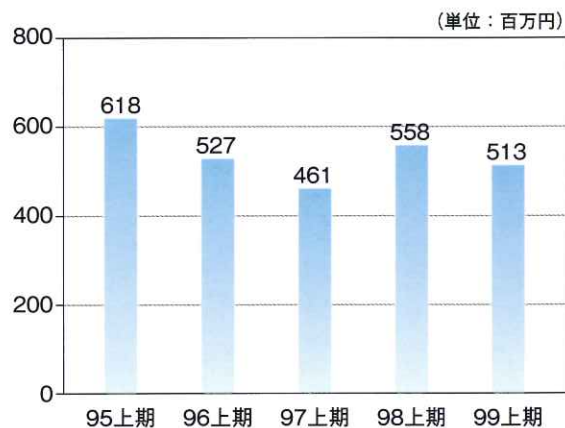
(百万円未満切捨)

財務データ

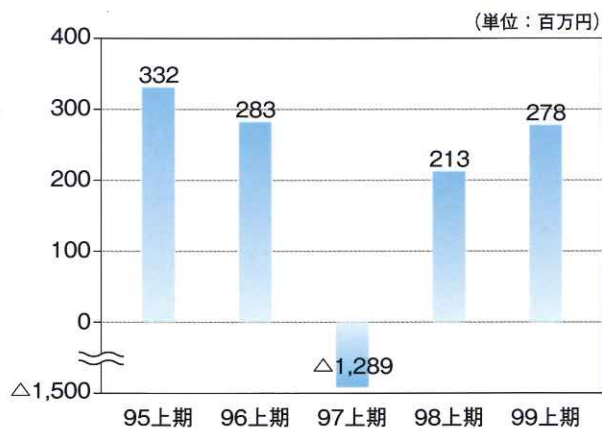
営業収入



経常利益



中間純利益



総資産



株式の状況

発行可能株式総数…………… 258,300,000株

発行済株式総数…………… 77,400,000株

株主数…………… 8,092名

大株主（上位10名）

株主名	当社への出資状況	
	持株数	出資比率
第一生命保険相互会社	6,690千株	8.64%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社	3,850	4.97
矢古字保	3,780	4.88
株式会社三菱東京UFJ銀行	3,428	4.42
株式会社みずほコーポレート銀行	3,428	4.42
朝日生命保険相互会社	2,667	3.44
明治安田生命保険相互会社	2,388	3.08
東京海上日動火災保険株式会社	2,150	2.77
太陽生命保険株式会社	2,006	2.59
三井住友海上火災保険株式会社	1,847	2.38

会社の概要

商号 東洋埠頭株式会社

創業 昭和4年5月

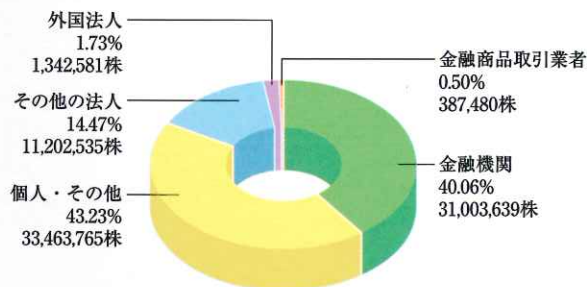
資本金 82億6,082万3,456円

従業員数 295名（当社グループ691名）

役員および執行役員（平成21年9月30日現在）

代表取締役社長	鈴木 毓 夫
取締役専務執行役員 （総務部・経理部管理兼情報システム部施設部業務監査室担当）	茂木 有 司
取締役常務執行役員 （川崎支店長）	三浦 等
取締役常務執行役員 （大阪支店長）	辻 典 良
取締役役員 （営業部長）	原 秀 敏
監査役（常勤）	北見 庄 治
監査役 （第一生命保険相互会社取締役常務執行役員）	露木 繁 夫
監査役 （公認会計士）	加藤 朋 行
常務執行役員 （東京支店長）	高 沢 由 二
執行役員 （業務部長）	立 野 和 雄
執行役員 （青果営業部長兼川崎支店副支店長兼京浜青果部長）	藤 永 孝 行
執行役員 （国際営業部長）	清 水 隆 二
執行役員 （総務部長）	相 座 政 夫
執行役員 （経理部長）	萩 原 卓 郎
執行役員 （経営企画部長）	原 匡 史

所有者別株式分布状況

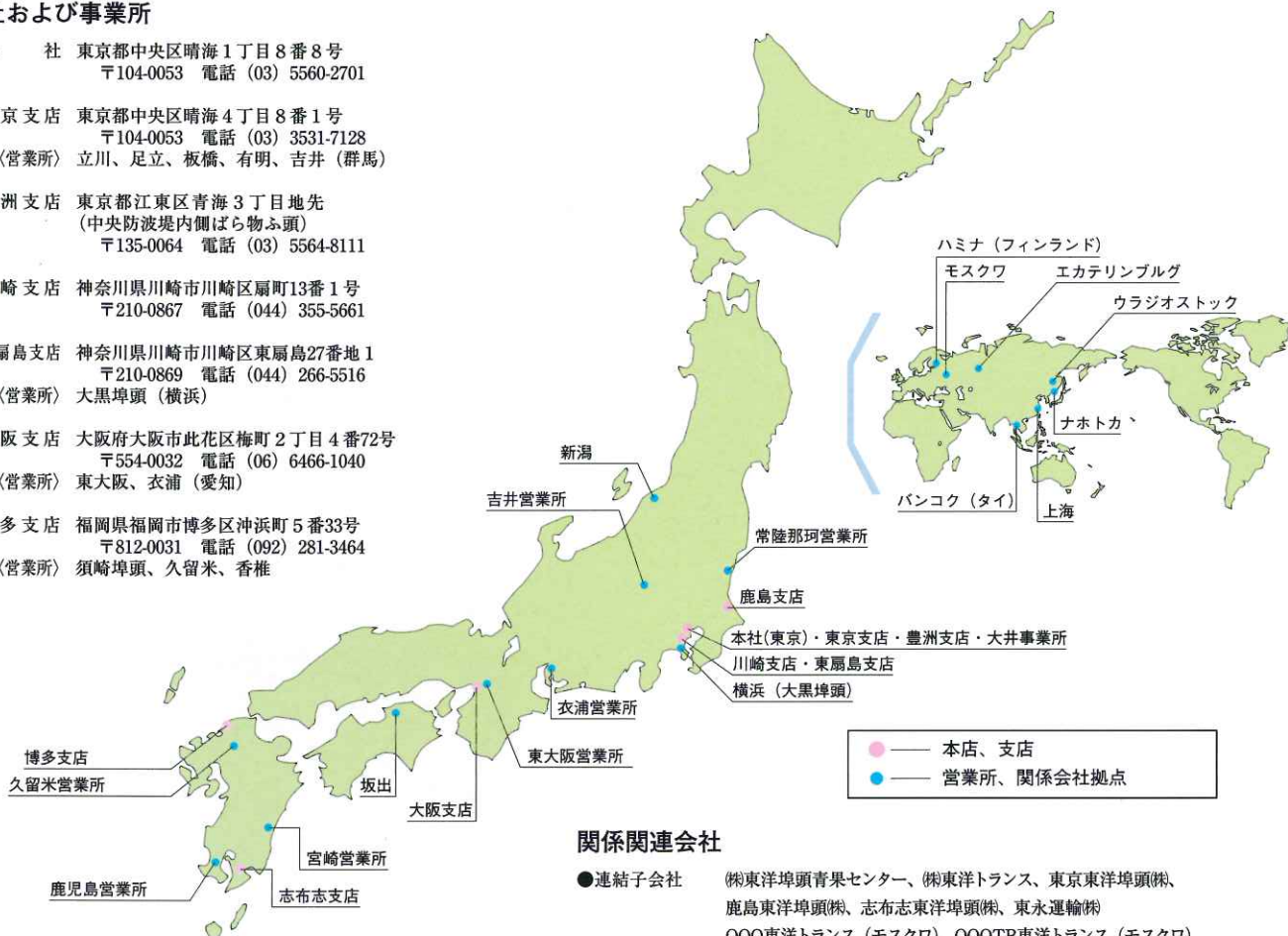


（注）自己株式116,505株は「個人・その他」に含めております。

東洋埠頭ネットワーク

本社および事業所

- ◇ 本社 東京都中央区晴海1丁目8番8号
〒104-0053 電話 (03) 5560-2701
- ◇ 東京支店 東京都中央区晴海4丁目8番1号
〒104-0053 電話 (03) 3531-7128
(営業所) 立川、足立、板橋、有明、吉井 (群馬)
- ◇ 豊洲支店 東京都江東区青海3丁目地先
(中央防波堤内側ばら物ふ頭)
〒135-0064 電話 (03) 5564-8111
- ◇ 川崎支店 神奈川県川崎市川崎区扇町13番1号
〒210-0867 電話 (044) 355-5661
- ◇ 東扇島支店 神奈川県川崎市川崎区東扇島27番地1
〒210-0869 電話 (044) 266-5516
(営業所) 大黒埠頭 (横浜)
- ◇ 大阪支店 大阪府大阪市此花区梅町2丁目4番72号
〒554-0032 電話 (06) 6466-1040
(営業所) 東大阪、衣浦 (愛知)
- ◇ 博多支店 福岡県福岡市博多区沖浜町5番33号
〒812-0031 電話 (092) 281-3464
(営業所) 須崎埠頭、久留米、香椎



● — 本店、支店
● — 営業所、関係会社拠点

関係関連会社

- 連結子会社 (株)東洋埠頭青果センター、(株)東洋トランス、東京東洋埠頭(株)、鹿島東洋埠頭(株)、志布志東洋埠頭(株)、東永運輸(株)、OOO東洋トランス (モスクワ)、OOOTB東洋トランス (モスクワ)
- 非連結子会社 (株)ティーエフ大阪、板橋共同作業(株)、シビル・ポートサービス(株)、新潟東洋埠頭(株)
- 関連会社 東光ターミナル(株)、坂出東洋埠頭(株)、(株)オーエスティ物流、上海青旅東洋物流有限公司 (上海)、スリタイ東洋ロジスティックス社 (バンコク)、香港東洋ロジスティックス社 (香港)

※1 OOO東洋トランス、OOOTB東洋トランスの2社は、(株)東洋トランス100%出資の子会社であります。

※2 太字は持分法適用会社であります。

株式についてのご案内

事業年度	4月1日から翌年の3月31日まで
定時株主総会	6月
基準日	3月31日 そのほか必要があるときは、あらかじめ公告いたします。
配当金受領株主確定日	3月31日 中間配当を行う場合は、9月30日現在の株主に対して行います。
公告掲載URL	http://www.toyofuto.co.jp/ 電子公告によることができない事故その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
郵便物送付先	〒137-8081
及び電話連絡先	東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-232-711 (フリーダイヤル)
上場金融商品取引所	東京証券取引所 (第一部)
証券コード	9351

(ご注意)

1. 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

<お知らせ>

株式事務に関するお問い合わせ	(三菱UFJ信託銀行 証券代行部)
お問い合わせ	0120-232-711 (フリーダイヤル)
諸届用紙ご請求	0120-244-479 (フリーダイヤル・24時間受付)
ホームページURL	http://www.tr.mufg.jp/daikou/



東洋埠頭株式会社

〒104-0053 東京都中央区晴海一丁目8番8号
(晴海トリトンスクエア)

TEL 03-5560-2701 (代)
<http://www.toyofuto.co.jp/>



「第99期 中間報告書」の一部訂正について

お届けしました「第99期中間報告書」において一部記載に誤りがございましたので、下記のとおり訂正させていただきます。

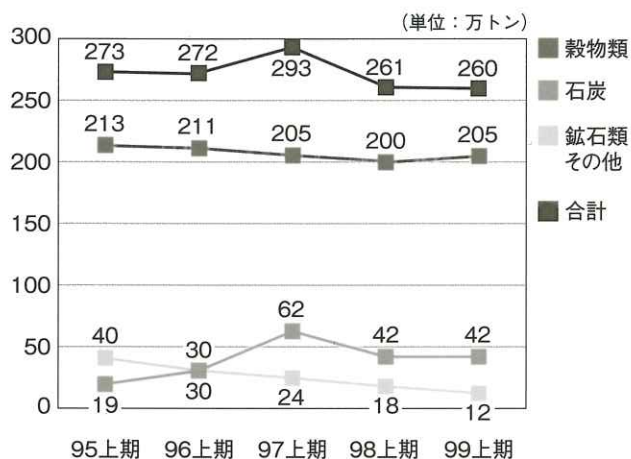
訂正箇所

4頁のグラフ中の数字

経岸貨物量	98上期	合 計	(正) 261万トン	(誤) 262万トン
	98上期	穀 物 類	(正) 200万トン	(誤) 201万トン
	99上期	合 計	(正) 260万トン	(誤) 261万トン
	99上期	穀 物 類	(正) 205万トン	(誤) 206万トン
	99上期	鉱石類その他	(正) 12万トン	(誤) 13万トン
倉庫貨物取扱量	99上期	入 庫 数 量	(正) 77万トン	(誤) 58万トン
	99上期	平均保管残高	(正) 24万トン	(誤) 22万トン

なお、訂正後のグラフは下記のとおりとなります。

経岸貨物量



倉庫貨物取扱量

